



週刊

こんにちは日本共産党です

# 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754

伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第382号

2018年9月24日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 子どもたちが輝く米本団地に

9月議会では、「UR都市機構と連携した住宅政策の推進を図る決議」（平成26年6月議会）を八千代市がどのように実行してきたのか問いました。この決議はUR団地の活性化のために「若年層の呼び込みや子育て支援の施策」のための具体的な提案を行なうこと強く要望したものです。しかし、八千代市からは具体的な提案を行なったという答弁はありませんでした。さらに「団地再生と子育て世代のために米本団地の小学校が必要であるという認識はあるのか」との質問に、市は答弁をしませんでした。



### 市長発言は住民の願いを踏みにじるもの

ところが答弁を求めているのに市長が突然発言をしました。「現状でも、米本小学校、米本南小学校があっても人口が減っているわけですよ。」と。この発言は、行政の怠慢と無為無策を露呈した極めて無責任な発言であり、到底容認できません。

小学校が地域にとって中核的な役割を果たしているという認識が欠けています。これは団地の再生のために小学校を残すことを求めている自治会や地域の人々の努力を踏みにじるものです。「地域住民の理解が得られない事業は行うべきではない」と言った市長の姿勢を貫くべきです。

### 「小学校存続」の請願を本会議で採択させよう

9月6日、文教安全常任委員会で自治会と地域から提出された「米本団地の小学校をなくさないことを求める」請願が審議されました。請願に反対した議員は、「小規模ではクラス替えができない。小中一貫校は他の学校ができないことができる。」など、団地に小学校を残すことにまともに答えていません。賛成した議員は、「教育委員会が結論を押し付けている。小学校はコミュニティの中核であり、なくてはならないもの」「小学校がなくなれば団地はますます疲弊してしまう」と主張しました。採決の結果、可否同数となり、伊東幹雄委員長（会派に属さない）が反対を表明したため、不採択になりました。

傍聴した人たちは「納得できない」「団地の人々の気持ちが分からないのか。許せない」と抗議の声を上げていました。本会議での請願採択を求めて、討論を行います。ぜひ議会傍聴（9月26日）をして請願を採択させましょう。

#### 請願に賛成した議員

三田 登 議員（会派に属さない）

原 弘志議員（新みんなの広場）

植田 進 議員（日本共産党）

#### 請願に反対した議員

末永 隆 議員（公明党）

緑川 利行議員（公明党）

横山 博美議員（市民クラブ）